

特集

地域ぐるみでの医療人育成に取り組んでいます

市では、札幌医科大学との連携協定の締結により、医療人材交流拠点形成事業として医学生の研修の受け入れに取り組んでいます。



札幌医科大学と連携協定 積極的な医療人育成へ

市では、地域を理解する医療人材育成の拠点づくりを目的に、平成24年から市内で実施する地域医療実習を支援するなど医療人材交流拠点形成事業を行っています。また、コホート研究や医学生の医療実習などの実績を踏まえ、市と札幌医科大学は、25年5月22日に連携協定を締結し、医学科、看護学科、作業療法学科、理学療法学科の4学科の学生を対象にした地域医療実習に取り組んでおり、26年度までに延べ90人の学生が留萌を訪れています。

施設見学や利用体験など 医療実習で地域を学ぶ

地域医療実習では、地域医療を展開する上で必要となる基本的な知識とパートナーシップを形成するためのコミュニケーション能力を学びます。さらに、地域が抱える保健医療の課題への理解を深めるため、市立病院や保健福祉センターはーとふる、るもい健康の駅、市内の介護施設などを訪れて、施設見学や利用体験、職員や利用者へのインタビュー

などを行っています。

また、地域の基幹産業に従事する人たちの生活と仕事を知り、職業に関連した疾病、障がいについて学ぶことを目的として、農業や水産加工業、食品販売業などに取り組む市内の企業への見学や従事者へのインタビューを行っています。

市では、今後も市内の企業や関係機関など地域の皆さんの理解と協力を得ながら、地域のために働く医療人の育成に取り組んでいきます。



▲利用者にインタビューする医学生（るもい健康の駅）

留萌での実習に参加して

留萌市では、健康増進に向けた取り組みが盛んで、地域の皆さんも健康に対する意識が高いということを学びました。また、地域の皆さんとの交流で、医療への期待を知ることができました。

実習を通して、多職種で連携し、地域の実情に合わせて医療を運営することで、地域の皆さんの健康増進に貢献していけると実感しました。実習に参加できたことに感謝しています。



札幌医科大学 医学部4年

かわた ゆか 河田 由香さん

▲平成26年度地域医療実習に参加した医学生の感想

自身の職種の役割を明確にしつつ、職種を超えた連携の大切さを深く理解し、地域医療に必要な能力への認識を高めていきます。

これからも留萌地域と連携して実施している地域医療教育について、できるだけ多くの地域の皆さんに知らせ、意見や要望など皆さんの声に耳を傾けて、地域医療教育の発展に生かし、留萌に滞在して教育を受ける学生のさらなる成長に繋がっていくことを望んでいます。

現代の医療における課題は、病気の治療に関することにとどまりません。高齢化に伴う要介護者の増加、生活習慣病の増加、疾病の多様化、患者・対象者のニーズの多様化など多岐にわたっています。この課題に立ち向かっていくために、質の高い医療人を育てて行けるよう努めていきます。

医療・福祉施設をはじめ、街中でも学生の姿を見かけられることもあるかと思えます。地域の皆さんに学生の存在を認め、見守っていただくことを切にお願いします。

地域の声に耳を傾けて成長

質の高い医療人の育成へ

札幌医科大学では、医学科、看護学科、作業療法学科、理学療法学科の4学科合同で地域医療実習を行っています。また、医学部6学年学生や卒後の初期研修医、後期研修医もまた留萌管内の医療や福祉に関わる専門家の皆さんから直接指導を受けています。

多職種がかかわりあうチーム医療を意識し、医学科、看護学科、作業療法学科、理学療法学科の4学科合同で行われる1学年の地域滞在実習は、「地域医療基礎実習」と名付けています。この教育を通して学生たちは、地域医療を多角的に理解し、



札幌医科大学 医療人育成センター 教育開発研究部門長

そうま ひとし 相馬 仁 教授

▲札幌医科大学 相馬仁教授が考える医療人育成の展望と期待

医療人育成を応援しています

平成26年度地域医療実習受け入れ先の皆さんに聞きました！



留萌信用金庫 総合企画部次長

いけだ あきら 池田 亮さん

当金庫は、「メディカル・カフェ」を医学生と共に開催しています。地域の声を直接聞ける機会ということもあり、医学生たちの一生懸命な姿を毎回見る事ができます。将来の医療を担う人材に育っていくことを願っています。



特別養護老人ホーム 萌寿園 生活支援課長

ふくおか まさみ 福岡 雅文さん

医学生の皆さんは、熱心な様子で実習に取り組んでいて、とても感心します。実習のあとに「楽しかった」と話す学生が多く、嬉しく思います。実習を通じて人と人との触れ合いの大切さを伝えていけたらと考えています。



佐藤ファーム 農業従事者

さとう たかのぶ 佐藤 剛信さん

医療実習は、地域の今を知ってもらうためのきっかけとして、有意義だと思えます。また、普段から農作業が中心の生活をしていますが、医学生たちと話をすることで、自分の体のことにも関心を持つようになりました。

▲地域医療実習受け入れ企業からのメッセージ